



平成 30 年 7 月豪雨災害により被害を受けられたみなさまに、心からお見舞いを申し上げます。

➤ 新年を迎えて ～ 時代の変化に即応できる広島和牛 NEWS をめざして ～

2019

平成最後の新年を皆様はどのようなお気持ちでお迎えのことでしょうか？
旧年中は、平成 30 年 7 月豪雨災害により多数の犠牲者と甚大な被害が発生し、復旧・復興に向けた取組が始まっているところです。また、世界情勢、国内情勢、和牛情勢など振り返れば、多くの苦難や難局が記憶に残っていることと思います。

本年は、5 月 1 日の新天皇の即位により、平成から新しい元号に変わります。また、10 月に実施される消費税の改正は、畜産経営にも多少の影響を及ぼすのではないのでしょうか。広島和牛 NEWS は、これら時代の変化に迅速かつ的確に対応した情報媒体として、広島和牛経営者やその関係者のみなさまに貢献できるよう引き続き、紙面充実を努めてまいります。

➤ 平成最後の後代検定牛決定 ～ 広島血統和牛の増産 ～

平成 31 年 4 月から予定されている、広島県候補種雄牛の調整交配の対象牛が決定し、「紅神照」「百合沢照」の 2 頭が選抜されました。
平成 29 年 12 月に県立総合技術研究所畜産技術センター（庄原市七塚町）で団体や県の関係者が参加する選抜委員会が開催され、発育、増体、飼料利用能力や体型の特徴などを調査（直接検定）した結果と実際に 4 頭の候補種雄牛を観察し、慎重な審議の結果、2 頭が選ばれました。2 頭の詳細は次のとおりです。調整交配は、「紅勝照」が 4 月から、「百合沢照」が 5 月から予定されておりますので、みなさまの御理解と御協力をお願いします。

名号	生年月日	出生地	血統			検定終了時		推定能力(期待)		交配期間(予定)
			父	母の父	母方祖父	体高(寸)	増体	BMS	枝肉重量	
紅神照	H28.10.1	庄原市七塚町	田安照	ゆりさわ	百合茂	A++	1.3kg/日	9.4	455.6kg	平成 31 年 4 月～7 月
百合沢照	H28.10.2	庄原市七塚町	田安照	ゆりさわ	百合茂	A++	1.2kg/日	9.4	455.6kg	平成 31 年 5 月～8 月



べにかみてる
紅神照

特長
伸び、深みが特に優れ、充実した体積を持つ。
補足
食欲旺盛（好き嫌いなし）、性質温順、体型サイズ文句なし



ゆりさわてる
百合沢照

特長
抜群の体積感があり、体上線が強く均称でも高い評価を受ける。
補足
食欲旺盛（好き嫌いなし）、性質温順、体型サイズ文句なし

➤ 広島和牛増産の取組み ～ 受精卵移植技術研修会 ～

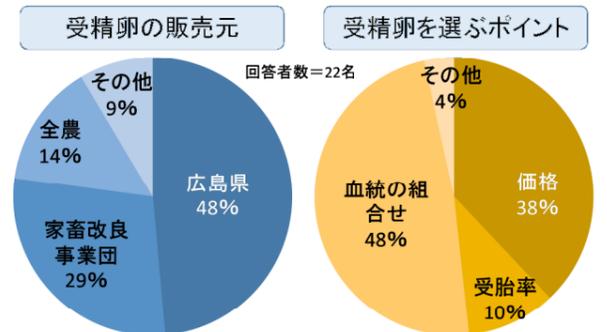
平成 30 年 12 月 18 日（火）に、県立総合技術研究所畜産技術センター（庄原市七塚町）において、受精卵移植師を対象とした県主催の研修会が開催されました。

受精卵移植の技術向上や新技術の普及による一層の和牛増産を目指したこの研修会では、実態調査から移植師間で技術（受胎率）のバラツキがあることを課題共有し、凍結受精卵の解凍方法、実際の牛の臓器を利用した移植のデモンストレーション、新しい移植器具の紹介と利用方法の実演が行われました。研修会の場が新たな交流の場としても機能しており、みなさんのますますの活躍が期待できる取組となりました。



班別に分かれて、実技研修も行われ内容の濃い研修となりました

受精卵に関するアンケート



約半数の方が広島県の受精卵を選んでいました。

約半数の方が血統で選んでいますが、次いで価格も選ぶポイントとなっています。

鹿児島最前線！ ～ 事例調査報告 ～

1月に鹿児島県の和牛肥育経営などの事例調査を行いました。この調査は、広島県の和牛経営の発展を支援する中で、日本一の飼養頭数を誇る鹿児島県の農場や支援の実態を把握し、今後の活動に活かしていくことを目的に行われました。

訪問先は、3,000頭を超える肥育牛を飼育する県内でも最大級の農場です。20名を超える社員、上物率(4,5等級割合)9割以上、パイン粕を利用するなど地域資源を有効に活用したオーダーメイドの濃厚飼料、直営のレストランを有するなど大規模ならではの経営管理が行われています。特に人材育成や牛の観察を徹底し、3K(汚い、臭い、キツイ)の解消・低減に注力することで、人・牛・環境にやさしい経営を実現されている様子が見られました。

鹿児島県の行政支援の実態を担当者にうかがったところ、小規模零細な和牛繁殖経営の高齢化による廃業、飼養頭数の減少が大きな課題となっており、5年ほど前から、和牛繁殖経営の法人化に力を入れ、一定の成果を得ているとのことでした。

その推進方策は、①県、市町、農協等の体制整備と情報共有、②法人化推進研修の開催と個別相談会の実施、③経営継承の理解促進と誘導、④法人化前後の専門家派遣によるフォローアップ、と充実していました。



はるか奥まで牛舎が並んでいます。防鳥ネットなど衛生対策は万全です。



自動給餌器、乗用機が乗り入れられる通路幅、低コスト牛舎など省力機能満載です。



屋根上部にはスプリンクラーが設置されており、九州最南端で暑熱対策も万全。

【鹿児島県と広島県の和牛経営の比較】

	広島県	鹿児島県	鹿児島÷広島
飼養頭数	12,500頭	312,400頭	25倍!
繁殖経営戸数	501戸	7,240戸	14倍
繁殖9頭以下戸数と割合	415戸 83%	4,440戸 61%	11倍 0.7倍
肥育経営	56戸	380戸	7倍
一貫経営	11戸	138戸	13倍

資料：農林水産省「畜産統計(平成30年2月1日現在)」

鹿児島県の和牛の飼養頭数は日本一。繁殖経営の特徴として広島県ほど顕著ではないものの、小規模経営の割合が依然として高い。

広島市の畜産を知ろう！ ～ 行政と生産者の理解醸成の取組み ～

平成30年12月21日(金)にJA広島市伴支店(広島市安佐南区)において「広島市の畜産を知ろう!の会」が開催されました。

この会は、広島市農業振興協議会畜産委員会がお互いの現状を理解し合い、関係者の連携強化を図ろうと初めて企画したものです。

当日は、畜産経営者や関係機関の担当者等約40名が集まり、経営者による現状の報告や活発な意見交換等が行われました。

現状報告した繁殖経営の正國さん(広島市佐伯区)は、「40年ほど前は各家庭に牛がおり、畜産を身近に感じていた。子どもころから畜産に親しむことが後継者育成に重要。」といった提案や、肥育経営の長岡さん(広島市安佐北区白木町)は、「休みがなく辛い作業も多いが、共進会での受賞やトップクラスの枝肉がでると、次への励みになる。」と、経営の醍醐味を聞くことができました。

意見交換では、厳しい肉用牛情勢を背景にヘルパー制度の導入や支援施策の継続を求める声があがり、今後の行政支援等を検討する

上で、現状を共有し合える貴重な場になったようです。

参加した経営者からは、「これまで畜産関係者が一堂に集まる機会はなかった。懇親を深めるとともに、意見交換ができる良い機会となった。」「畜産施策の方向性を決めるのに現場(経営者)の意見は重要。畜産経営者へ意向調査を行い、施策へ反映させてほしい」といった率直な意見が聞かれました。意見交換会等終了後、懇親会が催され、地元畜産物の魅力を味わいながら交流が深められました。



畜産経営者の現状報告に聞き入る参加者のみなさん

お知らせ

★広島和牛の歴史と味覚の体験フォーラム2019参加者募集中!★

日時 2月7日(木) 13:00~16:00
場所 広島県庁本館6階講堂(広島市中区基町10-52)
主催 広島県
内容

- (1) 話題提供「歴史と伝統に裏付けられた広島和牛」
- (2) 調査報告「外食産業における広島和牛の現状分析」
- (3) 試食体験「オレイン酸含有の高い広島和牛の楽しみ方」

参加申込

- (1) 参加対象 和牛の外食、卸売、小売、生産、広告に関連する方を優先
- (2) 申込方法 広島県HP「広島和牛フォーラム」申込専用フォームから
- (3) 申込期限 平成31年2月4日(月)



申込専用フォームはこちら

★和牛セミナー★

日時 2月12日(火) 13:00~16:00
場所 グランラッセ三次 会議室
(三次市十日市南1-5-5)

テーマ 「鳥取県の和牛子牛向上の取組み」(仮)
講師 鳥取県畜産課 課長補佐 井上真寛さん
内容 著名な種雄牛の効果で、全国から購買者が子牛市場に殺到している鳥取の取組について話題提供があります。

申込 (一社) 広島県畜産協会
TEL (082) 244-1783
FAX (082) 504-0484

広島和牛 NEWS が Web で閲覧可能になりました⇒「広島和牛 NEWS」で検索!

右の QR コードから広島和牛 NEWS パッケージをご覧ください。iPhone の場合、標準カメラをカササだけで読み取り可能です。



次回は、3月1日発行予定!